

? 古いパソコンの処分

広く普及している家庭用パソコンだが、「捨て方が分からない」「個人情報流出が心配」と、古い機種を持ったままの人も多いのでは。廃棄の際は、データ消去を行い、メーカーに引き取ってもらうことが必要だ。

大阪府の主婦(35)の家にはノートパソコンが3台あるが、実際に利用しているのは1台だけ。夫婦それぞれが独身時代に使っていた2台は、いずれも10年以上前の機種。今後使うことはなさそうだが、「個人データが漏れるのが不安」と捨てられないでいる。

経済産業省が今年2月、全国の約3000人に行ったネット調査では、「1年以上使っていないパソコン

マーク付き 回収無料



デジタル

がある」という人が47%にのぼった。「廃棄する手続きや準備が面倒」「個人情報漏れるのが心配」などが理由だった。

家庭用パソコンは「資源有効利用促進法」で、メーカーにリサイクルが義務づけられている。プラスチックや鉄など材質ごとに分け、再資源化されるため、単なるごみとして捨てることはできない。

2003年10月以降に販売された機種には「PCRリサイクルマーク」の図が



原則貼られ、メーカーに申し込めば無料で引き取ってくれる。ただし、マークのない、03年9月以前の機種を廃棄する場合は有料となる。ノートパソコンの場合、3150円が目安だ。

一般社団法人「パソコン3R推進協会」(東京)はホームページ(<http://www.pcsr.jp/>)で各メーカーの受付窓口を紹介している。倒産したメーカーや自作のパソコンは協会が有料で回収する。協会担当者は「メーカーや協会に渡す際は、トラブルを避けるためにも、利用者の責任でデータを消去するのが原則」という。

パソコンでデータが入っているのはハードディスク(HD)だ。総合情報サイト「オールアバウト」のパソコンガイド、内川功一朗さんによると、パソコン上でデータを「削除」したり、「初期化」したりしても、実際には消えていないという。「悪意があれば、データは読み取られてしまう。消去ソフトを利用するなど

専用の機械でパソコンのハードディスクに4つの穴を開けて破壊し、個人情報の流出を防ぐサービスも好評だ(大阪市のソフマップなんば店サウルス2で)

の対策が必要ですよ」と話す。消去ソフトは無意味なデータを何度もHDに上書きし、元のデータを読めなくなる。安いもので2000円ほど。消去ソフトを初めから内蔵しているパソコンも増えている。

物理的に壊してしまう方法もある。ソフマップ(東京)は、専用の機械でHDに穴を開けて、データを読み取れなくする「破壊サービス」を全国の21店舗で行っている。

心、と好評ですよ」と担当者。料金は1台あたり980円。同社が処理済みのものを引き取り、リサイクルを行う点も人気だ。

HDを金づちなどで壊そうとするのは、内部の素材が飛び散ってケガをする危険があり、避けた方がいいという。

捨てる前に大事なデータをUSBメモリーなどにバックアップしておくことも重要。「普段からバックアップを習慣付けておけば廃棄の際も楽ですよ」と内川さんは話す。

パソコンを捨てる際の注意点

- ! 「PCRリサイクルマーク」が貼ってあるパソコンは、メーカーが無料で回収してくれる
- メーカーに回収を申し込むと郵送用の伝票が送られてくる。送料は不要
- 2003年9月以前に購入したパソコンや、倒産したメーカーの製品の回収は有料
- 専用の消去ソフトやHDの破壊サービスなどを利用して、廃棄する前にデータを読めなくしておく
- 大事なデータは、普段からバックアップ
- 下取りや中古品として買い取ってもらう時も、必ず専用ソフトでデータ消去する(内川さんらの話をもとに作成)

